

第 13 回 幹 事 会

平成 18 年 4 月 12 日

日 本 学 術 会 議

配布資料

資料 1 議事次第

資料 2 出席者一覧

資料 3 非公開審議事項

資料 4 第12回幹事会議事要旨

資料 5 報告事項

資料 6 審議事項

資料 7 次回以降の日程について

参 考 地区会議事業実施に係る経費の支払いの件

第 13 回幹事会議事次第

日 時 平成 18 年 4 月 12 日 (水) 15 : 30 ~

議 題 1 非公開審議事項

- (1) 国際委員会 AASSREC 等分科会の委員の候補者の決定について (提案 1)
- (2) 史学委員会の委員の候補者の決定について (提案 2)
- (3) エネルギーと地球温暖化に関する検討委員会委員の候補者の決定について (提案 3)

2 報告事項

3 審議事項

- (1) 日本学術会議の意思の表出に係る様式及び作成付属資料並びに各委員会等の活動状況等の表出について (提案 4)
- (2) 分野別委員会運営要綱の一部を改正する決定案について (提案 5)
- (3) 分野別委員会・分科会等の組織と運営について (提案 6)
- (4) 日本学術会議協力学術研究団体の称号の付与について (提案 7)
- (5) 平成 18 年度地区会議の事業計画について (提案 8)
- (6) 「環境学の領域と展望」シンポジウムについて (提案 9)

4 その他

資料 2

第 13 回幹事会（4 月 12 日）出席者一覧

会 長	黒 川 清
副会長	大 垣 眞一郎

第一部 部長	広 渡 清 吾
副部長	佐 藤 学
幹事	江 原 由美子
幹事	鈴 村 興太郎

第二部 部長	金 澤 一 郎
副部長	唐 木 英 明
幹事	廣 橋 説 雄
幹事	鷺 谷 いづみ

第三部 部長	海 部 宣 男
副部長	土 居 範 久
幹事	河 野 長
幹事	小 林 敏 雄

事務局	西ヶ廣 局 長
-----	---------

報告事項

○ 委員会委員の辞任について

日本学術会議会則第 28 条第 2 項の規定により、下記委員会に所属していた委員の辞任が同委員会において承認されましたので、報告します。

記

第 20 期	基礎医学委員会	今井 浩三	委員
	基礎医学委員会	金澤 一郎	委員
	基礎医学委員会	岸 玲子	委員
	基礎医学委員会	斉藤 成也	委員
	基礎生物学委員会	唐木 英明	委員
	基礎生物学委員会	廣橋 説雄	委員
	応用生物学委員会	唐木 英明	委員
	応用生物学委員会	廣橋 説雄	委員
	応用生物学委員会	平 朝彦	委員

(平成 18 年 4 月 10 日付)

審 議 事 項

提案 4	日本学術会議の意思の表出に係る様式及び作成付属資料並びに 各委員会等の活動状況等の表出について	P. 1
提案 5	分野別委員会運営要綱の一部を改正する決定案について	P. 10
提案 6	分野別委員会・分科会等の組織と運営について	P. 18
提案 7	日本学術会議協力学術研究団体の称号の付与について	P. 20
提案 8	平成 18 年度地区会議の事業計画について	P. 22
提案 9	「環境学の領域と展望」シンポジウムの開催について	P. 24

5	
幹事会	1 3

提 案

分野別委員会運営要綱の一部を改正する決定案について

- 1 提 案 者 地球惑星科学委員会委員長
 化学委員会委員長

- 2 議 案 標記について、別紙案のとおり決定すること。

- 3 提案理由 分科会及び小委員会の設置に伴い、運営要綱を一部改正する
 必要があるため。

分野別委員会運営要綱（平成１７年１０月４日日本学術会議第１回幹事会決定）の一部を次のように改正する。次表により、改正前欄の掲げる規定をこれに対応する改正後の欄に掲げる規定の傍線を付した部分のように改める。

改 正 後					改 正 前				
別表第 1					別表第 1				
分野別委員会	分科会	調査審議事項	構成	備考	分野別委員会	分科会	調査審議事項	構成	
(略)	(略)	(略)	(略)		(略)	(略)	(略)	(略)	
地球惑星科学委員会	(略)	(略)	(略)		地球惑星科学委員会	(略)	(略)	(略)	
	地球惑星科学委員会国際対応分科会	(略)	(略)			地球惑星科学委員会国際対応分科会	(略)	(略)	
	(略)	(略)	(略)			(略)	(略)	(略)	
	地球惑星科学委員会国際対応分科会 I C A（国際地図学協会）小委員会	国際地図学協会（ I C A）への対応に関すること	1 2 名以内の会員又は連携会員、及び 8 名以内の会員又は連携会員以外の者			(略)	(略)	(略)	
	(略)	(略)	(略)						
	(略)	(略)	(略)						
(略)	(略)	(略)	(略)		(略)	(略)	(略)	(略)	
化学委員会	企画分科会	化学の研究促進のため推進を図り、委員会の活動方針及び企画運営に関すること	1 2 名以内の会員及び 5 名以内の連携会員		化学委員会	(略)	(略)	(略)	
	(略)	(略)	(略)						
(略)	(略)	(略)	(略)		(略)	(略)	(略)	(略)	

附 則
この決定は、決定の日から施行する。

分野別委員会運営要綱

〔平成 17 年 10 月 4 日
日本学術会議第 1 回幹事会決定〕

改正 平成 18 年 1 月 23 日日本学術会議第 7 回幹事会決定
平成 18 年 2 月 13 日日本学術会議第 8 回幹事会決定
平成 18 年 2 月 23 日日本学術会議第 9 回幹事会決定
平成 18 年 3 月 23 日日本学術会議第 10 回幹事会決定
平成 18 年 4 月 10 日日本学術会議第 11 回幹事会決定
平成 18 年 月 日日本学術会議第 回幹事会決定

(組織)

第 1 日本学術会議会則第 16 条に規定する分野別委員会(以下「委員会」という。)は、それぞれの分野における会員又は連携会員をもって組織する。

(分科会)

第 2 各委員会に置かれる分科会を、別表第 1 のとおり定める。

(庶務)

第 3 委員会の庶務は、日本学術会議事務局の各課・参事官の協力を得て、別表第 2 の各委員会に対応する事務局参事官が処理する。ただし、国際委員会に置かれる分科会を兼ねるものについては、委員会において別途定める。

(雑則)

第 4 この要綱に定めるもののほか、議事の手続きその他委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が定める。

附 則

この決定は、決定の日から施行する。

附 則(平成 18 年 1 月 23 日日本学術会議第 7 回幹事会決定)

この決定は、決定の日から施行する。

附 則(平成 18 年 2 月 13 日日本学術会議第 8 回幹事会決定)

この決定は、決定の日から施行する。

附 則(平成 18 年 2 月 23 日日本学術会議第 9 回幹事会決定)

この決定は、決定の日から施行する。

附 則(平成 18 年 3 月 23 日日本学術会議第 10 回幹事会決定)

この決定は、決定の日から施行する。

附 則(平成 18 年 4 月 10 日日本学術会議第 11 回幹事会決定)

この決定は、決定の日から施行する。

附 則(平成 18 年 月 日日本学術会議第 回幹事会決定)

この決定は、決定の日から施行する。

別表第 1

分野別委員会	分科会・小委員会	調査審議事項	構成	備考
地球惑星科学委員会	地球惑星科学委員会地球・惑星圏分科会	惑星・地球の起源、進化などの先端科学の在り方に関すること	20名以内の会員又は連携会員	
	地球惑星委員会地球・人間圏分科会	人間活動や社会との関わりが強いものに関する、環境、防災などで研究成果の社会への還元に関すること	20名以内の会員又は連携会員	
	地球惑星科学委員会国際対応分科会	海洋研究科学委員会（SCOR）への対応に関すること	7名以内の会員及び25名以内の連携会員	
		国際地質科学連合（IUGS）への対応に関すること		
		国際鉱物学連合（IMA）への対応に関すること		
		国際第四紀学連合（INQUA）への対応に関すること		
		国際地理学連合（IGU）への対応に関すること		
		国際地図学協会（ICA）への対応に関すること		
		国際測地学及び地球物理学連合（IUGG）への対応に関すること		

		宇宙空間研究委員会(COSPAR)への対応に関する こと		
		南極研究科学委員会(SCAR)への 対応に関するこ と		
		国際北極科学委員 会(IASC)への 対応に関するこ と		
		地質科学国際研究 計画(IGCP) への対応に関する こと		
		国際リソスフェア 計画(ILP)への 対応に関すること		
		太陽地球系物理学 国際共同研究計画 (STPP)への 対応に関すること		
		太陽地球系物理 学・科学委員会(S COSTEP)への対 応に関すること		
	地球惑星科学委 員会国際対応分 科会IGU(国 際地理学連合) 小委員会	国際地理学連合 (IGU)への対 応に関すること	13名以内の 会員又は連携 会員及び7名 以内の会員又 は連携会員以 外の者	
	<u>地球惑星科学委 員会国際対応分 科会ICA(国 際地図学協会) 小委員会</u>	<u>国際地図学協会 (ICA)への対 応に関すること</u>	<u>12名以内の 会員又は連携 会員、及び8名 以内の会員又 は連携会員以 外の者</u>	

	地球惑星科学委員会国際対応分科会 I G C P (地質科学国際研究計画) 小委員会	地質科学国際研究計画 (I G C P) への対応に関する こと	5 名以内の会 員又は連携会 員及び 1 5 名 以内の会員又 は連携会員以 外の者	
	環境学委員会・地 球惑星科学委員会 合同 I G B P ・ W C R P 合同分科会	環境学委員会に記 載	環境学委員会 に記載	
化学委員会	<u>企画分科会</u>	<u>化学の研究促進の ため推進を図り、 委員会の活動方針 及び企画運営に関 すること</u>	<u>1 2 名以内の 会員及び 5 名 以内の連携会 員</u>	
	化学委員会 I U P A C 分科会	国際純正・応用化 学連合 (I U P A C) への対応に関 すること	6 名以内の会 員及び 1 0 名 以内の連携会 員	
	化学委員会 I U C r 分科会	国際結晶学連合 (I U C r) への 対応に関すること	5 名以内の会 員及び 1 0 名 以内の連携会 員	

地球惑星科学委員会国際対応分科会小委員会の設置について

分科会等名：地球惑星科学委員会国際対応分科会 ICA（国際地図学協会）小委員会

1	所属委員会名 （複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。）	○地球惑星科学委員会 地域研究委員会
2	委員の構成	12名以内の会員又は連携会員、及び8名以内の会員又は連携会員以外の者
3	設置目的	ICA は地図学的な諸課題に関する研究の振興、諸国間の協力を促す地図学的研究の発議と調整、情報および資料交換の促進、専門技術の向上、ならびに地図学分野の知識の普及促進を目的として1959年に設立された地図学に関する唯一の国際学術機関であり現在79か国が加盟している。従来、国内対応委員会として地図学研連および地図学・地理情報科学専門委員会を通して我が国の関連学会・研究者を組織化し、国際的連携性のもとに空間情報化社会の発展、人類的な課題解決の支援、地図学の振興などに寄与してきた。このような国内委員会の活動の継承のみならず、新しい日本学術会議が目指す学術の社会貢献が一層よく見えるように関連分野と連携をとりながら国際対応を図ることが、本小委員会設置の目的である。
4	審議事項	- ICA と連携した国際的・国内的な地図学の振興普及と社会貢献、および他分野との協働の推進。 - 国際的課題への地図学からの参加の促進。 - ICA への役員等の推薦。 - ICA が関係する国際会議等への代表の派遣。 - ICA が関係する国際会議等の日本への招致。 - その他 ICA の活動への協力、支援、助言、わが国からの参加の促進に関する事項。
5	設置期間	時限設置 平成18年4月12日～平成20年9月30日 常設
6	備考	

化学委員会分科会の設置について

分科会等名： 化学企画分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	化学委員会
2	委員の構成	12名以内の会員及び5名以内の連携会員
3	設置目的	化学の研究促進のため国内外の研究連絡の中核として研究調整の推進を図ることを目的とし、化学に関する特に重要な事項について審議検討する。また、委員会の活動方針を討議し、企画運営に関しても検討する。
4	審議事項	化学の研究調整の推薦を図ること 化学に関する諸問題 化学委員会に関すること
5	設置期間	期限設置：平成18年4月12日～平成19年3月31日 常設
6	備考	

6	
幹事会	1 3

提 案

分野別委員会・分科会等の組織と運営について

- 1 提 案 者 第三部長
- 2 議 案 標記について、別紙案のとおり申し合わせること。
- 3 提案理由 分野別委員会・分科会等の組織と運営について検討するため。

平成 18 年 4 月 12 日

分野別委員会・分科会等の組織と運営について (第三部提案)

仮に第二次も含めた連携会員 2 千名のほとんどが分野別委員会に所属すると、重複がないとしても平均 70 名余の委員会となり、運営が困難になる。一方では、すでに連携会員に委員会参加の働きかけが進み、多くの連携会員の委員会参加が進んでいる。この中で、第二次も含めて連携会員の中で委員・非委員の差別はできないのではないか、さらに、会員と連携会員との区別もすべきでないとの意見もでている。また、正式メンバーではない会員・連携会員等を委員会や分科会に随時招きたい時、現状では旅費が出ないという問題が残っている。

これらの問題を 4 月 4 日の第三部拡大役員会で議論した結果、以下の点を幹事会にかけ、全体的に確認あるいは検討いただくことになった。

- 1) 会員と連携会員とは同格とはいいいながら、会員は執行部であるとの意味づけがなされている。この点を明確にし、たとえば会員のみで委員会を構成することもあり得ることを確認する。
この場合、委員会はその分野の執行部と位置づけられる。
- 2) 同様の意味で、委員会には分野の連携会員全員に参加いただくことも、あるいは連携会員の一部に参画いただくことも、分野の特性によって適切に行えることを確認する。
- 3) 連携会員も含めて委員会が多人数となった場合、役員と適切な委員による「拡大役員会」で通常の運営を行うことも可とする（旅費も含め）ことを確認する。
ただしこの場合、正式な委員会決定のためにも、全体の委員会を年に一回は開催する必要がある。
- 4) 委員会や分科会において、メンバーではない会員・連携会員・その他の有識者を、委員長判断で「特別委員」として招聘し旅費を支給できるフレキシブルなシステムを確立するため、早急に内規を改定すること。
その場合、旅費の総枠からみて、各委員会（所属分科会を含む）で年に何名程度までという「目安」を設定する必要がある。

(以上)

7	
幹事会	13

提 案

日本学術会議協力学術研究団体の称号の付与について

- 1.提 案 者 会 長
- 2.議 案 日本学術会議協力学術研究団体の称号を付与すること
- 3.提 案 理 由 日本学術会議協力学術研究団体への新規申し込みのあった下記の団体について、科学者委員会に審議を付託したところ、別紙のとおり回答があったので、日本学術会議協力学術研究団体の称号を付与することとしたい。

記

日本緬羊研究会
 日本島嶼学会
 日本褥瘡学会
 日本ばね学会
 日本健康行動科学会
 特定非営利活動法人 海洋音響学会
 日本ワクチン学会
 日本有機農業学会
 日本うつ病学会
 日本生活支援工学会
 がん分子標的治療研究会
 日本生徒指導学会
 日本地球惑星科学連合
 科学技術社会論学会
 日本イオン交換学会
 日本科学技術史学会
 日本老年行動科学会
 国際ジェンダー学会
 日本義肢装具士協会
 人材育成学会

府日学第434号
平成18年4月12日

日本学術会議
会長 黒川 清 殿

科学者委員会
委員長 浅島 誠

公 省	印 略
--------	--------

日本学術会議協力学術研究団体の称号の付与について（回答）

平成18年2月6日付け府日学第109号で審議付託のあった標記について、
下記のとおり回答いたします。

記

日本学術会議協力学術研究団体の称号の付与は適当である。

- ・日本緬羊研究会
- ・日本島嶼学会
- ・日本褥瘡学会
- ・日本ばね学会
- ・日本健康行動科学会
- ・特定非営利活動法人 海洋音響学会
- ・日本ワクチン学会
- ・日本有機農業学会
- ・日本うつ病学会
- ・日本生活支援工学会
- ・がん分子標的治療研究会
- ・日本生徒指導学会
- ・日本地球惑星科学連合
- ・科学技術社会論学会
- ・日本イオン交換学会
- ・日本科学技術史学会
- ・日本老年行動科学会
- ・国際ジェンダー学会
- ・日本義肢装具士協会
- ・人材育成学会

8	
幹事会	1 3

提 案

平成18年度各地区会議事業計画について

- 1 提 案 者 科学者委員会委員長
- 2 議 案 標記について、別紙のとおり決定すること。
- 3 提案理由 日本学術会議地区会議運営要綱第6第1項の規定に基づく
各地区会議の事業計画原案を、同第2項に基づき整理した
ので提案するものである。

【参 考】

- 日本学術会議地区会議運営要綱（抄）

（事業計画）

- 第6 各地区会議は、年度当初において当該年度における事業計画案を策定し、科学者委員会に提出しなければならない。
- 2 科学者委員会は、各地区会議の原案に基づき事業計画を整理し、幹事会の議を経て決定する。

平成 18 年度各地区会議事業計画(案)

平成18年4月

地区会議名	事業名	開催時期・場所	地区会議事務局
北海道	- 第1回地区会議 - 第1回学術講演会・科学者との懇談会 - 第2回地区会議 - 第2回学術講演会・科学者との懇談会 - 現代的教育ニーズ取組支援プログラムにかかるフォーラム出席 - 地区会議ニュースの発行(No.40)	平成18年 4月(札幌市) 6月(未定) 平成19年 1月(札幌市) 1月(未定) 2月(未定) 2月(未定)	北海道大学 (学術国際部)
東 北	- 東北地区会議会員連絡会議(第1回) - 科学者との懇談会及び公開学術講演会 - 東北地区会議会員連絡会議(第2回) - 地区会議ニュースの発行(No.26)	平成18年 4月(東北大学) 平成19年 1月(山形大学) 3月(東北大学) 3月	東北大学 (研究協力部)
	地域振興フォーラム	9月(仙台市)	実施主体は東北大学
中 部	- 第1回地区会議、学術講演会 - 地区会議ニュースの発行(No121、122) - 第2回地区会議、学術講演会	平成18年 6月23日(福井大学) 9月(予定)、2月(予定) 11月～12月(三重大学)	中部大学 (学務部)
近 畿	- 第1回近畿地区会議・学術文化懇談会 - 第1回学術講演会(シンポジウム) - 第2回学術講演会(シンポジウム) - 第3回学術講演会(シンポジウム) - 第2回近畿地区会議・学術文化懇談会 - 第3回近畿地区会議・学術文化懇談会 - 地区会議ニュースの発行	平成18年 5～6月(京都大学) 未定 未定 未定 12～2月(京都大学) 平成19年 2～3月(京都大学) 3月	京都大学 (研究推進部)
	地域振興フォーラム	未定	実施主体は京都大学・奈良大学・奈良先端科学技術大学・大阪大学のいずれかの大学
中国・四国	- 第1回地区会議、科学者懇談会及び学術講演会 - 第2回地区会議、科学者懇談会及び学術講演会 - 地区ニュースの発行(第40号)	平成18年 7月(高知県) 12月(広島大学) 平成19年 3月	広島大学 (学術部)
九州・沖縄	- 地区会議 - 地区ニュース発行(No.104) - 学術講演会・科学者懇談会 - 地区会議 - 地区ニュース発行(No.105)	平成18年 6月(福岡市) 9月 未定(大分市or宮崎市) 平成19年 2月(福岡市) 3月	九州大学 (企画部)
	地域振興フォーラム	7月or11月(福岡市)	実施主体は九州大学

9	
幹事会	13

提 案

「環境学の領域と展望」シンポジウムの開催について

1. 提案者 環境学委員会委員長
2. 議 案 標記シンポジウムを下記のとおり開催すること。

記

1. 主 催 日本学術会議環境学委員会
2. 日 時 平成18年5月25日 13時30分—17時00分
3. 場 所 日本学術会議講堂
4. 議事次第（予定）

趣旨：第20期学術会議の発足にあたって、新たに「環境学」の領域がたちあがりました。環境学委員会には、分野をこえた多彩なメンバーが参加しており、21世紀初頭における新しい学術研究領域の創造と社会的メッセージの発信が求められています。このシンポジウムは、「環境学とは何か」について問題提起を行い、その領域と展望について論議を深めることを目的とするものです。

プログラム

13時15分 シンポジウムの趣旨

東京農業大学地域環境科学部教授 進士 五十八

第一部 「環境学とは何か」：三つのフレーム

13:30-14:00 1. 「環境政策学」の領域と課題

立教大学大学院法務研究科教授 淡路剛久

14:00-14:30 2. 「環境資源学」の領域と課題

東京大学大学院農学生命科学研究科教授 鷺谷 いづみ

14:30-15:00 3. 「環境工学」の領域と課題

京都大学大学院工学研究科教授 今中 忠行

15:00-15:30 4. 「環境学」のミッション

環境デザイン研究所 仙田 満

休憩

第二部 「環境学の領域と展望」

環境学委員会、構成メンバーによるラウンドテーブル、討議

総合司会：環境学委員会委員長 進士 五十八

ラウンドテーブル参加者：敬称略（予定）

碓井 照子、桑野 園子、岸 玲子、林 良博、池田 駿介、今栄 東洋子、
入倉 幸次郎、大垣 真一郎、栗原 和枝、平 朝彦、古川 勇二、村上 周三、
飯塚 堯介、毛利 衛

閉会：挨拶 環境学委員会幹事 石川 幹子

・

次回以降の日程について

(1) 幹事会

- | | |
|-----------|-------------------------|
| ① 第14回幹事会 | 平成18年 5月25日 (木) 14:00から |
| ② 第15回幹事会 | 平成18年 6月22日 (木) 14:00から |
| ③ 第16回幹事会 | 平成18年 7月26日 (水) 16:00から |
| ④ 第17回幹事会 | 平成18年 8月24日 (木) 14:00から |
| ⑤ 第18回幹事会 | 平成18年 9月21日 (木) 14:00から |
| ⑥ 第19回幹事会 | 平成18年10月 2日 (月) 総会終了後 |
| ⑦ 第20回幹事会 | 平成18年10月 3日 (火) 総会終了後 |
| ⑧ 第21回幹事会 | 平成18年10月 4日 (水) 委員会終了後 |
| ⑨ 第22回幹事会 | 平成18年10月26日 (木) 14:00から |
| ⑩ 第23回幹事会 | 平成18年11月22日 (水) 14:00から |
| ⑪ 第24回幹事会 | 平成18年12月21日 (木) 14:00から |
| ⑫ 第25回幹事会 | 平成19年 1月25日 (木) 14:00から |
| ⑬ 第26回幹事会 | 平成19年 2月22日 (木) 14:00から |
| ⑭ 第27回幹事会 | 平成19年 3月22日 (木) 14:00から |

(2) 連合部会・部会

- ① 平成18年10月 2日 (月)、 3日 (火)
- ② 平成19年 2月13日 (火)

(3) 総 会

- ・ 平成18年10月 2日 (月) から 4日 (水) まで [秋の定例総会]

(4) 連合部会又は臨時総会

平成18年 7月26日 (水)

平成18年4月12日

地区会議代表幹事会

地区会議事業実施に係る経費の支払いの件

4月10日（月）、地区会議代表幹事会を開催したところ、標記について、各地区の代表幹事の総意として以下のとおり要望があったので、地区会議代表幹事会委員長として報告する。

記

1. 地区会議事業実施に係る経費については、地区会議事務局である大学が立替払いを行うケースが多いので、日本学術会議からの経費支払いが速やかに行われるよう運用の弾力的な改善を求めたい。
2. 地区会議事務局における人的補充が可能となるような予算的な改善を求めたい。

地区会議会議代表幹事会

委員長 浅 島 誠